

③産業のまち部会

紀北町第2次総合計画前期基本計画「主要施策実施状況表」アンケート結果集計表

No	施策項目	主要施策	事務事業	実施内容		担当課	評価欄					
				平成29年度	平成30年度		評価結果 (部会委員5名)					
				A:高く評価できる B:やや評価できる C:どちらともいえない D:あまり評価できない E:全く評価できない								
第2章 前期基本計画												
第3節 魅力と活力ある産業のまち												
1. 農業												
147	①農業経営基盤の充実	1	高効率農業に向けた生産基盤の整備、農業用施設の維持管理への支援	高収益作物への転換を促進するために農業用施設の整備を実施した。(農道舗装等 L=323.4m)	中里地区で農地中間管理機構関連農地整備事業を実施し高収益作物への転換を促進していく。事業説明会の実施し、事業の要件である実施地区所有者に対する中間管理権を設定するために地権者に対し説明を行った。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	2	1		
148		2	排水機場や揚水機場等の大規模な維持修繕に対する、土地改良施設維持管理適正化事業の活用	土地改良施設維持管理適正化事業を活用し、町内6排水機場の適切な維持補修を実施した。(H29 船津川排水機場主エンジン分解整備)	土地改良施設維持管理適正化事業を活用し、町内6排水機場の適切な維持補修を実施した。(H30 出垣内排水機場除塵機補修工事 等)	農林水産課	A・B・C・D・E	2	2	1		
149		3	農業経営に意欲を持つ中核的農業者に、農地中間管理事業を活用した経営の拡大、農地集積を奨励	農地中間管理機構を利用した農地集積を促進し、町内の中核的農業者への農地集積を実施した。(小山浦地区において中間管理機構を通じた利用権設定 2件)	農地中間管理機構を利用した農地集積を促進し、町内の中核的農業者への農地集積を実施した。(島原地区他において中間管理機構を通じた利用権設定 6件、河内地区において中間管理機構を通じた所有権移転 1件)	農林水産課	A・B・C・D・E	2	1	2		
150		4	営農技術の指導や研修会への参加の奨励	県や農業改良普及センターと共同で農業者に倒伏(稲穂が倒れること)に強い品種の紹介等を実施した。	県や農業改良普及センターと共同で農業者に営農に適する土壌の研修等を実施した。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	1	2		
151		5	耕作放棄地の発生抑制と、既存の耕作放棄地の 利用意向調査を踏まえた活用の検討と整備	利用意向調査の結果を踏まえ、設定した地区において中間管理機構を通じた農地の借り手と貸し手のマッチングを推進を図った。(小山浦、島原 他)	利用意向調査の結果を踏まえ、設定した地区において中間管理機構を通じた農地の借り手と貸し手のマッチングを推進を図った。(便ノ山、馬瀬、島原 他)	農林水産課	A・B・C・D・E	1	3	1		
152		6	農業振興地域整備計画(農振農用地)の定期的な見直しの実施	農業振興地域整備計画の策定のための基礎調査を実施した。	農業振興地域整備計画の素案を策定した。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	3			
153	②後継者・担い手の育成	1	農業後継者や新規就農者の技術習得等への支援、安定した経営に向けた各制度の有効利用の指導	人・農地プラン事業により現在新規就農者として、安定した農業経営に向けて農業次世代人材投資資金(旧成年就農給付金)を活用し支援を行った。(新規就農者 3名)	人・農地プラン事業により現在新規就農者として、安定した農業経営に向けて農業次世代人材投資資金(旧成年就農給付金)を活用し支援を行った。(新規就農者 現在1名)	農林水産課	A・B・C・D・E	3		1	1	
154		2	就農希望者や研修生の受け入れ体制の整備、研修会の開催など、後継者・担い手の育成支援	町外への就農希望者に対して、耕作地の紹介や農業次世代人材投資資金(旧成年就農給付金)の制度を説明し就農に対する支援を実施した。最終的に希望者の意向で尾鷲町で就農することとなった。(希望者 1名)	町外への就農希望者に対して、耕作地の紹介や農業次世代人材投資資金(旧成年就農給付金)の制度を説明し就農に対する支援を実施した。最終的に希望者の意向で町内の農業関連会社に就職することとなった。(希望者 1名)	農林水産課	A・B・C・D・E	1	2	2		
155	③農産物の特産品開発	1	農産物の特産品の開発及び6次産業化の確立の支援	町内業者のホオヅキを原料としたワイン製造プランに対し、行政サイドからの支援策の検討を行った。	町内業者のホオヅキを原料としたワイン製造プランに対し、行政サイドからの支援策の検討を行った。	農林水産課	A・B・C・D・E	1	3	1		
156		2	農業産品を利用した特産品の開発支援と育成	町内業者のホオヅキを原料としたワイン製造プランに対し、行政サイドからの支援策の検討を行った。	町内業者のニンニクを原料とした6次産業化製品の生産に係る行政サイドからの支援策として、生産部分の規模拡大に対し援助を実施した。	農林水産課	A・B・C・D・E	3	2			
157		3	伝統食材の継承と育成支援	県と共同し、県内大学生に伝統食材であるくき漬作り体験を実施した。	町内小学生に地元産米の生産過程の紹介及びこめの試食を体験を実施した。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	1	2		
158	④安全・安心への取り組み	1	「みえの安心食材」の普及促進など安全で安心な農作物の生産の推進	温州ミカン等の果物では古里道瀬地区の生産者の多数が認定を受けており(温州ミカン 9名)、野菜でも多品種で認定を受けている生産者も存在する。今後も県と共同しGAP認証取得等と併せて生産者に制度の紹介を推進する。	温州ミカン等の果物では古里道瀬地区の生産者の多数が認定を受けており(温州ミカン 9名)、野菜でも多品種で認定を受けている生産者も存在する。今後も県と共同しGAP認証取得等と併せて生産者に制度の紹介を推進する。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	1	1	1	
159		2	地産地消の促進	一部農業者の農業産品は既に地域内流通で大きな収益を得ている。今後も行政として農業産品の高付加価値も含めた地産地消のモデルの検討を農業者と共同で検討を行った。	一部農業者の農業産品は既に地域内流通で大きな収益を得ている。今後も行政として農業産品の高付加価値も含めた地産地消のモデルの検討を農業者と共同で検討を行った。	農林水産課	A・B・C・D・E	1	2	2		
160		3	トレーサビリティシステムの導入	地域内の消費者に向けて一部農業者が生産者の顔の見える取引を実施している。行政としても「みえの安心食材」の更なる普及促進を行った。	地域内の消費者に向けて一部農業者が生産者の顔の見える取引を実施している。行政としても、「みえの安心食材」の更なる普及促進を行った。	農林水産課	A・B・C・D・E	1	2	2		
161		4	鳥インフルエンザに対する防疫措置への支援	県と共同して、防疫の対応についてマニュアルをもとに研修を行い、発生時の防疫措置について処分場所の検討や処分方法についての情報共有をし発生時に備えた。(H29.11.16 尾鷲地域鳥インフルエンザ防疫研修会)	県と共同して、防疫の対応についてマニュアルをもとに研修を行い、発生時の防疫措置について処分場所の検討や処分方法についての情報共有をし発生時に備えた。(H30.11.2 尾鷲地域鳥インフルエンザ防疫研修会)	農林水産課	A・B・C・D・E	2	2	1		
162	⑤都市・消費者との交流	1	生産現場の体験や生産方法の説明など生産者と消費者の交流促進	県と共同し、県内大学生にくき漬作りや農作物の収穫作業の体験を実施した。	町内小学生に地元産米の生産過程の紹介及びこめの試食を体験を実施した。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	2	1		

③産業のまち部会

紀北町第2次総合計画前期基本計画「主要施策実施状況表」アンケート結果集計表

No	施策項目	主要施策	事務事業	実施内容		主担当課	評価欄	評価結果 (部会委員5名)				
				平成29年度	平成30年度			A	B	C	D	E
163			2 自然体験や農業体験などを通した都市と農村の交流促進	(農林水産課) 県と共同し、県内大学生にくき漬作りや農作物の収穫作業を体験してもらった。 (企画課) ・田舎暮らし体験事業の実施。(1泊2日・参加者9名) ・四條畷市の小学5年生(30名)を銚子川、和具の浜海水浴場などで自然体験学習を行うための補助金を交付した。	(農林水産課) 和具の浜海水浴場(農地海岸)等を活用して都市と農村の交流を促進した。けいちゅうに宿泊した町外のスポーツ少年団等が和具の浜海水浴場を利用した。 (企画課) ・田舎暮らし体験事業の実施。(1泊2日・参加者5組11名) ・就業体験事業の実施(1日・5組5名) ・四條畷市の小学5年生48名(児童39名+引率9名)が1泊2日で、銚子川、和具の浜海水浴場などで自然体験学習を行うための補助金を交付した。	農林水産課 企画課	A・B・C・D・E	2	2	1		
164		⑥有害鳥獣対策の推進	1 防護柵設置や駆除等への助成	国補事業の大規模柵設置や町単の電柵等補助金の活用(H29実績 21件 940千円)し、獣害対策を行った。集落支援員制度を活用し獣害の追払いや捕獲等を積極的に実施した。	国補事業の大規模柵設置や町単の電柵等補助金の活用(H30実績 24件 799千円)し、獣害対策を行った。集落支援員制度を活用し獣害の追払いや捕獲等を積極的に実施した。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	3			
165			2 農業改良普及センターと連携した被害防止研修等の実施	農業改良普及センターと協力し、獣害用暗視カメラの設置や獣害防除対策の効果検証を行った。(大原地区 三戸地区 等)	農業改良普及センターと協力し、獣害用暗視カメラの設置や獣害防除対策の効果検証を行った。(島原地区 三戸地区 等)	農林水産課	A・B・C・D・E	2	1	2		
2. 林業												
166		①林業基盤の整備	1 自然環境に配慮した林道等の新設や既存林道の維持・管理	・林道橋梁1橋(江竜橋)の架替工事(第I期)を施工【旧橋撤去工、橋台工、護岸工等、10,900千円(前払金)、平成30年度へ繰越】 ・町管理林道19路線の土砂撤去等を施工した(13,264千円) ・2路線の林道舗装工事を施工(五ノ滝線:L=105.2m、鯛ノ又線:L=200m、6,145千円) ・平成28年災の1路線(三戸西谷林道)の災害復旧工事を施工(H29繰越、7,448千円、L=31m) ・森林組合おわせが実施した林道6路線の路面補修等4,000mに対し、林道安全対策維持管理事業補助金3,000千円を助成 ・16路線の林道橋梁37橋の点検を実施し、健全性評価や個別施設計画を策定するとともに、林道橋梁の一般図を作成した(8,834千円) ・県営施行により野又越線が147.82mが舗装され、本町に引き渡された。	・林道橋梁1橋(江竜橋)の架替工事(第II期)を施工【旧橋撤去工、下部工、護岸工等】 ・町管理林道13路線の土砂撤去等を施工した。(5,361千円) ・1路線の林道舗装工事を施工(下曾黒線:L=480m、11,705千円) ・森林組合おわせが実施した林道5路線の路面補修等4,500mに対し、林道安全対策維持管理事業補助金2,000千円を助成した。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	2	1		
167			2 境界の明確化、導入した森林GISを活用し、森林管理の効率化	・地域森林計画の対象となっている民有林(土地)について、林地台帳を整備した。(4,104千円) ・森林GISシステムの保守業務(本庁、支所 216千円)を行った。	森林GISシステムの更新業務(本庁・支所 449千円)を行った。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	2	1		
168			3 育林技術の改良や小規模所有者などの集約化、機械化を含めた効率的な施業体制の確立	既に海山木材協同組合に木材乾燥機2台を導入済み。	既に海山木材協同組合に木材乾燥機2台を導入済み。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	1	2		
169			4 新規就業者の育成、森林の施業や作業路網整備、木材の販売等総合的に提案し、森林管理ができる人材の育成	みえ森林・林業アカデミー開講に向けての意見交換会に参加し、人材育成等について意見交換を行った。	みえ森林・林業アカデミー開講に向けての意見交換会に参加し、人材育成等について意見交換を行った。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	2	1		
170			5 販路組織の強化、国産材の安定供給体制の確保	・尾鷲市・紀北町・森林組合おわせ・木材協同組合等で構成される尾鷲林政推進協議会において協議し、尾鷲ヒノキ材に関し都市部へのPR活動等を実施した。 ・都市部における地域産材の利用促進のため、「みたと森と水ネットワーク会議(東京都港区)」に参加するとともに、「みたと森と水ネットワーク会議」の地域物産展で尾鷲ヒノキなどを出品した。 ・搬出された木材の仕分けに必要な中間土場を森林組合が整備することにに対し助成した。 (島原字忠ヶ谷地内、A=約9,500㎡、3,200千円)	・尾鷲市・紀北町・森林組合おわせ・木材協同組合等で構成される尾鷲林政推進協議会において協議し、木材の海外輸出に向けた取組みや尾鷲ヒノキの商標登録取得を実施 ・都市部における地域産材の利用促進のため、「みたと森と水ネットワーク会議(東京都港区)」に参加するとともに、「みたと森と水ネットワーク会議」の地域物産展で尾鷲ヒノキなどを出品した。 ・搬出された木材の仕分けに必要な中間土場を森林組合が整備することにに対し助成した。 (2箇所、A=7,000㎡、4,000千円)	農林水産課	A・B・C・D・E	3	1	1		
171		②森林整備の推進	1 再造林や除・間伐等の育林の実施、森林資源の循環利用についての検討	・町有林において、再造林3.03ha(2箇所)、防護柵設置1,150m(2箇所)、下刈り9.56ha(10箇所)、枝打ち1.93ha(4箇所)、間伐25.27ha(17箇所)、面積測量61.13ha(47箇所)を実施した。 ・分収造林地3団地において、24.52haの除伐を実施した(6,156千円)	・町有林において、下刈り6.68ha(8箇所)、枝打ち2.65ha(3箇所)、間伐7.10ha(2箇所)、面積測量 35箇所を実施した。 ・分収造林地3団地において、49.09haの除伐を実施した(11,160千円)	農林水産課	A・B・C・D・E	3	1	1		
172			2 低コスト 造林、広葉樹林の整備及び獣害対策の推進	・1ha当たり2,500本未満のヒノキ苗を植栽した低コスト造林を3箇所、4.58haを実施した。 また、同箇所には防護柵を2,848m設置した。 ・大杉谷国有林におけるニホンジカ対策森林施業の現地学習会に参加した。	・大杉谷国有林におけるニホンジカ対策森林施業の現地学習会に参加した。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	2	1		

③産業のまち部会

紀北町第2次総合計画前期基本計画「主要施策実施状況表」アンケート結果集計表

No	施策項目	主要施策	事務事業	実施内容		主担当課	評価欄	評価結果 (部会委員5名)					
				平成29年度	平成30年度			A	B	C	D	E	
173			3 保安林の指定の促進、治山事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地区の要望等を取りまとめ、三重県へ治山事業の要望を実施した。</li> <li>その結果、三重県において、7地区で12箇所の治山工事が施工された。</li> <li>治山事業施工に伴い保安林指定承諾が必要な場合は、町においても交渉などを行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地区の要望等を取りまとめ、三重県へ治山事業の要望を実施した。</li> <li>その結果、三重県において、6地区で7箇所の治山工事が施工された。</li> <li>治山事業施工に伴い保安林指定承諾が必要な場合は、町においても交渉などを行った。</li> </ul>	農林水産課	A・B・C・D・E	3	2				
174		③地元材の新たな利活用の促進	1 公共建築物や公園施設製品、公共工事資材の木造化・木質化の促進、公共建築施設への木質バイオマスエネルギーの利用の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>みえ森と緑の県民税市町交付金事業を活用し、1集会所の建築(此ヶ野、木造平屋建て、建築面積123.7㎡、木材使用量26.7m<sup>3</sup>)、健康増進施設へのロッカーやカウンター、シューズボックス等の木製製品の整備(木材使用量11.127m<sup>3</sup>)、ヒノキステージ整備(A=16.2㎡、木材使用量0.9028m<sup>3</sup>)を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>みえ森と緑の県民税市町交付金事業を活用し、1多目的会館の木質化(木材使用量2,554m<sup>3</sup>)、公民館木製製品の整備(東長島公民館 木材使用量0.8502m<sup>3</sup>)、体育館木製製品の整備(東長島スポーツ公園 木材使用量4,5795m<sup>3</sup>)を実施した。</li> </ul>	農林水産課	A・B・C・D・E	2	3				
175			2 国際認証制度(FSC)の活用や認証取得への支援、内装材の利用促進や情報発信、民間住宅等への地元材利用拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>紀北町木造住宅建築促進事業補助金を2件(棟)に助成した(678千円)</li> <li>FSC認証も含めて日本農業遺産に認定されたこと記念し、地元(尾鷲市、熊野古道センター)でシンポジウムを開催した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年3月に、尾鷲市とのグループによるFSC森林認証を取得</li> <li>紀北町木造住宅建築促進事業補助金を4件(棟)に助成した。(2,000千円)</li> </ul>	農林水産課	A・B・C・D・E	3	2				
176			3 新たな木材需要の創出に向けた製材業等への支援検討	地域産材の利用促進のため、「みなと森と水ネットワーク会議(東京都港区)」に参加した。	地域産材の利用促進のため、「みなと森と水ネットワーク会議(東京都港区)」に参加した。	農林水産課	A・B・C・D・E	1	3		1		
177		④森林の活用	1 森林の環境教育等での活用、林業体験を通じた都市との交流の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>三菱重工ファミリー祭(愛知県清須市)に参加し、ヒノキのコマ作り体験を開催した。</li> <li>森林環境教育活動及び木工体験活動を全校生徒が実施した上里小学校に対し、みえ森と緑の県民税市町交付金事業を活用し、補助金を200千円を助成した。</li> <li>平成28年度において、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、引本浦(網代)の町有林1.10haのフィールドを整備している。平成29年度には、同フィールドにおいて、1中学校を対象として『地域の林業』の講話、ヒノキ苗100本の植林体験学習を実施した。(255千円)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>島勝浦地内にある企業の森(三菱重工)において、三菱重工株式会社社員とともに森林整備を実施した。</li> <li>みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、船津地区の町有林0.07haのフィールドにおいて、1小学校を対象として『地域の林業』の講話、ヒノキ苗の植林体験学習を実施した。(327千円)</li> </ul>	農林水産課	A・B・C・D・E	2	2	1			
178			2 日常的に森林を有効活用するための整備の実施	NTRC(ボランティア組織)が集落周辺森林(里山)整備事業として登山道等4ルートの風倒木伐採等2.76haを実施したことに対し、みえ森と緑の県民税市町交付金事業を活用し補助金を200千円を助成した。	NTRC(ボランティア組織)が集落周辺森林(里山)整備事業として登山道等2ルートの風倒木伐採等2.49haを実施したことに対し、みえ森と緑の県民税市町交付金事業を活用し補助金を200千円を助成した。	農林水産課	A・B・C・D・E	3	1	1			
3. 水産業													
179		①水産資源の確保	1 海の汚染防止、稚魚などの種苗の放流や禁漁区の設定	マダイ、クロダイ、トラフグ、アユ、アマゴ、稚エビ、アワビ、カサゴ、ヒラメの種苗放流を実施した。(平成29年度実績9,210千円)	マダイ、クロダイ、トラフグ、アユ、アマゴ、稚エビ、アワビ、カサゴ、ヒラメ、ナマコの種苗放流を実施した。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	3				
180			2 人工魚礁の設置、藻場の造成、食害生物の駆除	国補事業及び町単事業において、築いそ(イセエビ礁)の設置(長島地区)、長島地区産地協議会によるアオリイカ産卵床設置を行った。	町単事業において、築いそ(イセエビ礁)の設置(長島地区)、長島地区産地協議会によるアオリイカ産卵床設置を行った。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	2		1		
181			3 中間育成事業への取り組みの検討	漁業近代化資金利子補給金の支給により漁業者等の資本装備の高度化及びその経営の近代化の促進を図った。(平成29年度実績1,627千円)	漁業近代化資金利子補給金の支給により漁業者等の資本装備の高度化及びその経営の近代化の促進を図った。(平成30年度実績994,591千円)	農林水産課	A・B・C・D・E	2	2	1			
182			4 組織への技術指導者の配置	三重県の普及員や大学教授等による講義や技術相談等を実施した。	三重県の普及員や大学教授等による講義や技術相談等を実施した。	農林水産課	A・B・C・D・E	1	3		1		
183			5 魚貝類及びのり養殖の振興、新魚種養殖の支援、養殖量の適正化	新たな種類の養殖漁業権の更新を行った。	近代化資金利子補給補助金交付及び漁業共済赤潮特約事業補助金交付による支援を行った。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	2	1			
184			6 国際認証制度の取得支援の検討	紀北町ブランド推進協議会において、制度の理解等を検討を行った。	紀北町ブランド推進協議会において、制度の理解等を検討を行った。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	1	2			
185		②所得向上に向けた施策の展開	1 産地魚価の安定と食魚普及、産地地消費などの消費拡大	長島地区産地協議会による新商品の検討、及び、「いきいき子供学園」において魚さばきと干物づくり体験を実施した。	水産スクールによる魚さばき体験や岩ガキの試食を実施した。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	1	2			
186			2 漁獲物の高付加価値化、新たな需要の創出に向けた流通ルートの開拓	紀北町ブランド推進協議会による、鮮魚の高付加価値化及び新たな需要創出のための県外調査を実施した。	紀北町ブランド推進協議会による、鮮魚の高付加価値化及び新たな需要創出のための検討を行った。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	1	2			
187			3 漁業の近代化と経営の合理化、安定化を図るための施設の整備	島勝魚市場水揚設備(計量器)整備事業の補助、長島魚市場水揚設備(計量器)事業の補助を行った。	水産振興補助金により、各漁港施設の整備補助を行った。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	2	1			
188			4 漁場管理体制の樹立と、協業グループの推進	漁業者の著しい減少による漁場の管理体制の見直し等の検討を実施した。	漁業者の著しい減少による漁場の管理体制の見直し等の検討を実施した。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	2		1		
189			5 共同利用施設における省力機器整備や衛生面に配慮した共同加工場等の整備	長島魚市場防鳥ネット整備事業の補助を行った。	水産振興補助金により、魚市場水揚設備整備のための補助を実施した。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	2	1			

③産業のまち部会

紀北町第2次総合計画前期基本計画「主要施策実施状況表」アンケート結果集計表

No	施策項目	主要施策	事務事業	実施内容		主担当課	評価欄 A:高く評価できる B:やや評価できる C:どちらともいえない D:あまり評価できない E:全く評価できない	評価結果 (部会委員5名)						
				平成29年度				平成30年度		A	B	C	D	E
190		③担い手の育成・組織の強化	1	地域の漁業を学習する機会の設定	地元中学生を対象とした水産スクールを実施した。	地元中学生を対象とした水産スクールを実施した。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	2	1			
191			2	漁業協同組合への外国人漁業研修生の受け入れの支援	外国人漁業研修生受入対策事業への補助を実施した。(受入人数11名 1,100千円)	外国人漁業研修生受入対策事業への補助を実施した。(受入人数11名 1,000千円)	農林水産課	A・B・C・D・E	3	2				
192			3	漁業者自らが講師となり技術等を若手の漁業者に伝え、リーダーとなるべき人材の育成を図る	地区における熟練漁業者や引退する漁業者から若手漁業者への技術指導の場の提供や情報提供を行った。	地区における熟練漁業者や引退する漁業者から若手漁業者への技術指導の場の提供や情報提供を行った。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	1	2			
193			4	漁業協同組合について、組合組織の充実、市場販売手数料の統一の支援	市場販売手数料の引き下げのための支援等の協議及び検討を行った。	市場販売手数料の引き下げのための支援等の協議及び検討を行った。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	1	1	1		
194		④水産加工業の振興	1	荷捌施設、輸送施設など地域の中核的流通加工施設の活用推進	長島魚市場の衛生化に対する支援等を行った。	水産振興補助金により、魚市場水揚設備整備のための補助を実施した。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	2	1			
195			2	漁業者と仲買人が一体となった流通機構の改善と販路の拡大	長島地区産地協議会において、漁業者と仲買人等が一体となり販売促進や高付加価値化のための会議を実施した。	長島地区産地協議会において、漁業者と仲買人等が一体となり販売促進や高付加価値化のための会議を実施した。	農林水産課	A・B・C・D・E	1	3	1			
196			3	水産物のブランド化、加工品の高付加価値化など流通加工体制の強化	(農林水産課) ・長島地区産地協議会において、漁業者と仲買人等が一体となり販売促進や高付加価値化のための会議を実施した。 (商工観光課) ・地方創生予算を活用し、紀北町地域ブランド協議会の立ち上げ、紀北町産品の高付加価値化を目指してマーケティング調査を実施した(フリ)	(農林水産課) ・紀北町ブランド推進協議会による、鮮魚の高付加価値化及び新たな需要創出また新商品の開発にむけた検討実施した。 (商工観光課) ・地方創生予算を活用し、紀北町地域ブランド協議会において、紀北もん認定のための要綱(案)を作成し、始神テラスにおいて紀北町産品のマーケティング調査を実施した。	農林水産課 商工観光課	A・B・C・D・E	1	2	2			
197		⑤漁港等の整備	1	衛生的で新鮮な水産物を届ける産地市場を目指す取り組み	長島魚市場防鼠ネット整備事業の補助を行った。	水産振興補助金により、魚市場水揚設備整備のための補助を実施した。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	1	2			
198			2	員外船の入港の促進、関連施設の充実	員外船の入港を促進させるための協議・検討を行った。	員外船の入港を促進させるための協議・検討を行った。	農林水産課	A・B・C・D・E	1	2	1	1		
199			3	都市住民との交流を促進するための施設整備	都市部からの来町者が衛生化を進める魚市場する事ができる施設づくりの検討を行った。	都市部からの来町者が衛生化を進める魚市場する事ができる施設づくりの検討を行った。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	1	1	1		
200			4	漁港や海岸保全施設の整備促進、機能保全計画の策定、施設の長寿命化	・三浦漁港海岸及び矢口漁港海岸施設整備事業を実施した。 ・三浦漁港及び矢口漁港の機能保全計画の策定を行った。	三浦漁港海岸及び矢口漁港海岸施設整備事業を実施した。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	1	2			
4. 商工業														
201		①地場産業の振興	1	農林水産業と連携した特産品の開発・販売、地域内外へのPR強化、紀北町ブランドの確立・開発と販路の拡大	・イオン四日市北店、名古屋茶屋店、亀山エコーにおける物産展を開催した。 ・地方創生予算を活用し、紀北町地域ブランド協議会の立ち上げ、紀北町ブランドの確立・開発と販路の拡大を目指して活動を行った。	・イオン四日市北店、名古屋茶屋店、亀山エコーにおける物産展を開催した。 ・地方創生予算を活用し、紀北町地域ブランド協議会の立ち上げ、紀北町ブランドの確立・開発と販路の拡大を目指して活動を行った。	商工観光課	A・B・C・D・E	2	1	1	1		
202			2	「始神テラス」の町内業者のアンテナショップとして活用、地域特性を生かした商品の販売の促進や地域内外への情報発信	・みえ熊野古道商工会への補助金活用(3,058千円)し、「始神テラス」と連携しインターネット配信動画「キホクニヤ商店」を放送。ネット通販を通じて地域内外への情報発信を行った。	・みえ熊野古道商工会への補助金活用し、「始神テラス」と連携しインターネット配信動画「キホクニヤ商店」を放送。ネット通販を通じて地域内外への情報発信を行った。	商工観光課	A・B・C・D・E	2	1	2			
203			3	きいながしま港市などの物販関連事業への、地域の活性化のための支援	・年末きいながしま港市への補助金交付(800千円)、人的支援を行った。 ・通常港市等の支援を実施した。	・年末きいながしま港市への補助金交付(800千円)、人的支援を行った。 ・通常港市等の支援を実施した。	商工観光課	A・B・C・D・E	1	3	1			
204			4	低価格、大量生産の海外製造製品に対しての、地域資源を活用した製品への高付加価値化対策	・地方創生予算を活用し、紀北町地域ブランド協議会の立ち上げ、紀北町産品の高付加価値化を目指してマーケティング調査を実施した。(フリ)	・地方創生予算を活用し、紀北町地域ブランド協議会の立ち上げ、紀北町産品の高付加価値化を目指して始神テラスにおいて紀北町産品のマーケティング調査を実施した。	商工観光課	A・B・C・D・E	1	2	2			
205			5	地場産業に関連する水産加工業などの振興を図るため、諸施策について調査・検討、研修会などの開催	・紀北町地域ブランド協議会で講演会開催。1回 ・地方創生推進交付金を活用した、マーケティング調査を実施(フリ)した。	・紀北町地域ブランド協議会において、地場産業振興への町施策への協力いただける参加事業者の募集を行った。 ・地方創生推進交付金を活用した、始神テラスにおいて紀北町産品のマーケティング調査を実施した。	商工観光課	A・B・C・D・E	2	2	1			
206			6	ふるさと納税制度を活用した地場産品の知名度向上	通年取扱可能な返礼品に加え、季節限定の返礼品を取り扱うなど、地場産品の知名度向上に努めた。	通年の返礼品に加え、季節(夏季・冬季)限定の返礼品を取り扱うなど、地場産品の知名度向上に努めた。	財政課	A・B・C・D・E	2	2	1			

③産業のまち部会

紀北町第2次総合計画前期基本計画「主要施策実施状況表」アンケート結果集計表

No	施策項目	主要施策	事務事業	実施内容		主担当課	評価欄	評価結果 (部会委員5名)					
				平成29年度	平成30年度			A	B	C	D	E	
				A: 高く評価できる B: やや評価できる C: どちらともいえない D: あまり評価できない E: 全く評価できない									
207		②経営体制の強化	1	商工会と連携し、商品知識、販売技術の習得、接客の研修、経営の合理化、流通機構の情報収集、電子商取引の拡大、など商店の近代化による消費者ニーズに応じた商品づくり経営診断、事業主及び従業員の研修、金融対策など経営改善に対応する指導強化、事業計画の策定支援	・みえ熊野古道商工会への補助金活用(8,562千円)し、商品知識、販売技術の習得、接客の研修、経営の合理化、流通機構の情報収集、電子商取引の拡大、など商店の近代化による消費者ニーズに応じた商品づくり経営診断、事業主及び従業員の研修、金融対策など経営改善に対応する指導強化、事業計画の策定支援を行った。	・みえ熊野古道商工会への補助金活用し、商品知識、販売技術の習得、接客の研修、経営の合理化、流通機構の情報収集、電子商取引の拡大、など商店の近代化による消費者ニーズに応じた商品づくり経営診断、事業主及び従業員の研修、金融対策など経営改善に対応する指導強化、事業計画の策定支援を行った。	商工観光課	A・B・C・D・E	2	2	1		
208			2	商工会と連携した、ポイントカード等の普及促進	・熊野古道カードサービスへの補助金交付(800千円)により、ポイント打点機の更新を支援した。	・熊野古道カードサービスへの補助金交付(800千円)により、ポイント打点機の更新を支援した。	商工観光課	A・B・C・D・E	1	1	3		
209			3	各分野の既存企業への新技術導入、研究開発、従業員の育成・確保の支援、経営の安定化の促進	【未着手項目】(今後の対応) H30年度に入ってから、「生産性向上特別措置法に基づく導入促進基本計画」について国の同意を得て、「先端設備等導入促進計画」による認定を受けた業者が2業者有り、新技術導入に関する補助を受けている状況。今後も新技術導入を含め、当該項目についての促進を図った。	H30年度に入ってから、「生産性向上特別措置法に基づく導入促進基本計画」について国の同意を得て、「先端設備等導入促進計画」による認定を受けた業者が2業者有り、新技術導入に関する補助を受けている状況となり大幅に増加している。今後も新技術導入を含め、当該項目についての促進を図った。	商工観光課	A・B・C・D・E		3	2		
210		③起業・創業の支援	1	小規模商店や、新たに商店等を出店しようとする者への支援	・創業支援計画に基づいた確認書の発行(実績 1件) ・紀北町創業支援事業保証料補助金交付要領の制定を行った。	・創業支援計画に基づいた相談を行った。(実績 4件) ・紀北町創業支援事業保証料補助金交付を行った。(実績 1件)	商工観光課	A・B・C・D・E	2	1	2		
211			2	紀北町創業支援計画に基づいた、起業・創業の支援	・創業支援計画に基づいた確認書の発行を行った。(実績 1件)	・創業支援計画に基づいた相談を行った(実績 4件)	商工観光課	A・B・C・D・E		3	2		
212			3	商品開発、市場調査から販売まで生産者を支援する地域商社の設立促進の支援	・地方創生予算を活用し、紀北町地域ブランド協議会の立ち上げ、地域商社商社設立への可能性の検討を行った。	・地方創生予算を活用し、紀北町地域ブランド協議会の活動を通じ、地域商社商社設立への可能性の検討を行った。	商工観光課	A・B・C・D・E		2	2	1	
213		④新規企業の立地促進・支援	1	企業誘致活動を展開し、新規企業の立地促進・支援の実施	紀北町ホームページに企業立地メニューを掲載し、国・県の関連情報、町の取り組みなどを発信し、企業誘致に取り組んだ。	紀北町ホームページに企業立地メニューを掲載し、国・県の関連情報、町の取り組みなどを発信し、企業誘致に取り組んだ。	企画課	A・B・C・D・E	1	2	2		
214			2	生産企業のみならず、IT系、研究・開発系の企業も含めた企業誘致の促進	紀北町ホームページに企業立地メニューを掲載し、国・県の関連情報、町の取り組みなどを発信し、企業誘致に取り組んだ。	紀北町ホームページに企業立地メニューを掲載し、国・県の関連情報、町の取り組みなどを発信し、企業誘致に取り組んだ。	企画課	A・B・C・D・E	1	2	2		
5. 観光													
215		①観光振興体制の確立	1	観光客のニーズにあわせた町内の各観光施設のルート化や「体験観光」、「学習観光」、「楽しい観光」といった視点に基づく観光のあり方について検討	・第2回三重紀北SEA TO SUMMITを開催した。 ・三重県が推進しているジャパン・エコトラックの登録に向けてルート等の協議を行った。 ・古里魚まち歩観会との協働によるまち歩きを実施した。	・第3回三重紀北SEA TO SUMMITを開催した。 ・ジャパン・エコトラック推進協議会への参加。 ・古里魚まち歩観会との協働によるまち歩きを実施した	商工観光課	A・B・C・D・E	3	2			
216			2	農林水産業など地場産業と連携した観光振興策の展開	・FSCの森散策&ヒノキのクラフト体験を実施した。 ・地引網体験を実施した。	・都市圏でのヒノキのクラフト体験を実施した。	商工観光課	A・B・C・D・E	2	1	1	1	
217			3	紀北町観光サービスセンターの活用、紀北町観光協会の活動等に対する支援	・観光協会への事業の積極的な補助を行った。	・観光協会への事業の積極的な補助を行った。	商工観光課	A・B・C・D・E	2	2	1		
218			4	観光DMO設立に向けた検討	・東紀州地域振興公社が中心となり観光DMO設立に向けた視察研修や勉強会を実施した。	・東紀州地域振興公社が中心となり観光DMO設立に向けた視察研修や勉強会を実施した。	商工観光課	A・B・C・D・E	2	1	1	1	
219		②観光地としての魅力の向上	1	地域資源を活用した自然体験や地場産品の加工体験などの体験メニューの充実、四季を通じて楽しめる体験型集客交流の推進、民宿・旅館、キャンプ場等への宿泊客の誘致	・FSCの森散策&ヒノキのクラフト体験を実施した。 ・三重県が推進しているジャパン・エコトラックの登録に向けてルート等の協議を行った。	・都市圏でのヒノキのクラフト体験を実施した。 ・ジャパン・エコトラック推進協議会への参加。	商工観光課	A・B・C・D・E	1	3		1	
220			2	世界遺産熊野古道について、活動拠点となる施設や古道客の受け入れ体制の整備	・『銚子川エリアトレッキングマップ』の道標を設置し、馬越峠を中心としたトレッキングコースの整備を行った。	・『銚子川エリアトレッキングマップ』を活用した馬越峠を中心としたトレッキングコースの整備を図った。	商工観光課	A・B・C・D・E	1	3	1		
221			3	観光関連事業者の知識と意識の向上、情報共有、連携強化に向け、研修会・講演会を開催	・東紀州地域振興公社が中心となり観光DMO先進地の講師を迎えての研修会等を実施した。	・東紀州地域振興公社が中心となり観光DMO先進地の講師を迎えての研修会等を実施した。	商工観光課	A・B・C・D・E	1	3		1	

③産業のまち部会

紀北町第2次総合計画前期基本計画「主要施策実施状況表」アンケート結果集計表

No	施策項目	主要施策	事務事業	実施内容		主担当課	評価欄	評価結果 (部会委員5名)					
				平成29年度	平成30年度			A	B	C	D	E	
				<small>A:高く評価できる B:やや評価できる C:どちらともいえない D:あまり評価できない E:全く評価できない</small>									
222			4	産品・土産品や地域食材を活用したオリジナル料理などの開発を支援するとともに、販売ラベル等の統一化・特徴化	・地方創生予算を活用し、紀北町地域ブランド協議会の立ち上げて特産品の高付加価値化を目指し、「紀北もん」のオリジナルラベル等を作成した。	・地方創生予算を活用し、紀北町地域ブランド協議会において、地域ブランドの開発等に対して支援をするとともに、紀北もん認定にかかる要綱案の作成を行った。	商工観光課	A・B・C・D・E	1	2	2		
223			5	道の駅「海山」、「便石山」、「種まき権兵衛の里」、「魚飛溪」など、各施設や資源を上手くリンクし、観光客が一日中楽しめるように銚子川流域の整備の実施	・平成28年度に作成した『銚子川エリアアトレッキングマップ』のコース上に道標を設置した。 ・道の駅「海山」において万年カレンダーや木メダル作り等のクラフト体験を実施した。	・『銚子川エリアアトレッキングマップ』を活用して馬越峠を中心としたトレッキングコースの推進を図った。 ・道の駅「海山」においてクラフト体験を実施した。	商工観光課	A・B・C・D・E	2	2	1		
224			6	「キャンプinn海山」や「けいちゅう」の利用促進に繋がる企画や施設整備の推進	・キャンプinn海山において、シーズン料金制導入を生かした秋キャンプ・冬キャンプ等の新企画を実施した。	・キャンプinn海山において、秋冬の集客をのばすため、冬キャンプ、ソロキャンプなどを実施した。	商工観光課	A・B・C・D・E	1	3		1	
225			7	インバウンド対策の実施	・東紀州地域振興公社が中心となり観光DMO先進地の講師を迎えての研修会等を実施した。	・東紀州地域振興公社が中心となり観光DMO先進地の講師を迎えての研修会等を実施した。	商工観光課	A・B・C・D・E	1	2	1	1	
226			8	観光客の2次交通の確保	・きいながしま古里温泉利用客の送迎試験運行を実施した。	・きいながしま古里温泉利用客の送迎試験運行を実施した。	商工観光課	A・B・C・D・E	1	3			1
227		③情報発信の強化	1	観光情報発信システムを活用した情報発信など積極的な観光PR活動	・観光協会ホームページ及びブログ、フェイスブック、ライン等を活用した情報発信を実施した。	・観光協会ホームページ及びブログ、フェイスブック、ライン等を活用した情報発信を実施した。	商工観光課	A・B・C・D・E	1	2	2		
228			2	「始神テラス」、道の駅「紀伊長島マンボウ」や道の駅「海山」での町内の観光名所への誘導や宿泊施設の紹介などの情報発信	・「始神テラス」において観光案内人を設置し、まちなかへの誘導を促進した。	・「始神テラス」において観光案内人を設置し、まちなかへの誘導を促進した。	商工観光課	A・B・C・D・E	2	2	1		
229			3	関係機関や隣接市町と連携して広域的観光ルートの確立と情報発信	・東紀州地域振興公社が中心となり、台湾のメディアや旅行社を対象に東紀州ファミツアーを実施した。 ・お伊勢さん菓子博において、御浜町と合同で舞台出演し観光PRを実施した。」	・東紀州地域振興公社が中心となり、台湾のメディアや旅行社を対象に東紀州ファミツアーやモニターツアーを実施した。	商工観光課	A・B・C・D・E	1	2	1	1	
230		④各種イベントの充実	1	観光コーディネーターや観光インストラクター等の起用による自然体験型観光イベントや体験研修のさらなる推進	・観光コーディネーターや観光インストラクターを対象に救急救命講習会を実施した。	・観光コーディネーターや観光インストラクターを対象に救急救命講習会を実施した。	商工観光課	A・B・C・D・E	1	2	2		
231			2	農林水産業などの事業者や各種団体と積極的に連携した、収益向上に繋がる産業体験イベントの実施	・FSCの森散策&ヒノキのクラフト体験を実施した。 ・三重県が推進しているジャパン・エコトラックの登録に向けてルート等の協議を行った。	・FSCの森散策&ヒノキのクラフト体験を実施した。 ・三重県が推進しているジャパン・エコトラックの登録に向けてルート等の協議を行った。	商工観光課	A・B・C・D・E	2	1	2		
232			3	きほく燈籠祭をはじめとする各種イベントや伝統芸能等への支援、世界遺産熊野古道を活用した広域連携の促進	・きほく七夕物語への補助金交付、人的支援を行った。 ・きほく燈籠祭への補助金交付、人的支援を行った。 ・きほく夏祭りKODOへの補助金交付、人的支援を行った。	・きほく七夕物語への補助金交付、人的支援を行った。(30年度中止) ・きほく燈籠祭への補助金交付、人的支援を行った。 ・きほく夏祭りKODOへの補助金交付、人的支援を行った。	商工観光課	A・B・C・D・E	1	2	2		
233		⑤熊野灘レクリエーション都市の活用	1	関係機関と連携した、施設の利活用と適切な維持管理	公園施設維持修繕計画を作成に向けて、熊野灘臨海公園のあり方検討会(案)の設置を企画(尾鷲建設事務所・紀北町・紀伊長島レクリエーション都市開発株)した。	「熊野灘臨海公園のあり方検討会(構成者:三重県・紀北町・紀伊長島レクリエーション都市開発株)」を設置し、公園施設について地区ごとの対応方針と優先度をまとめた。	建設課	A・B・C・D・E	1	2	2		
234			2	都市圏及び伊勢志摩地域からのアプローチを容易にするため、紀勢自動車道、国道42号、国道260号、国道422号の広域交通体系の整備促進を関係機関に働きかけるとともに、熊野灘レクリエーション都市地域へのアクセス網の整備を促進します。	紀勢自動車道建設促進三重県期同盟会、熊野尾鷲道路建設促進期同盟会等により、三重県及び国土交通省への要望活動を行った。	紀勢自動車道建設促進三重県期同盟会、熊野尾鷲道路建設促進期同盟会等により、三重県及び国土交通省への要望活動を行った。	建設課	A・B・C・D・E	2	1	2		
6. 雇用・就労													
235		①地元雇用の促進	1	ハローワーク等関係機関と連携しての、若者の地元雇用の促進	・ハローワーク求人情報の窓口への配置を行った。 ・上半期に地元就職説明会を開催した。(紀北雇用開発会議)	・ハローワーク求人情報の窓口への配置を行った。 ・上半期に地元就職説明会を開催した。(紀北雇用開発会議)	商工観光課	A・B・C・D・E	1	3	1		
236			2	農林水産業の就業体験や冊子、県外での就業相談等を行い、地域の伝統的基幹産業である農林水産業の魅力のPR	漁業就業支援フェア2017及び業業ガイダンスに参加した。	農林漁業就業就職に関する情報収集を行い相談対応を整えた。	農林水産課	A・B・C・D・E	2	2		1	

③産業のまち部会

紀北町第2次総合計画前期基本計画「主要施策実施状況表」アンケート結果集計表

No	施策項目	主要施策	事務事業	実 施 内 容		主担当課	評価欄 A:高く評価できる B:やや評価できる C:どちらともいえない D:あまり評価できない E:全く評価できない	評価結果 (部会委員5名)				
				平成29年度	平成30年度			A	B	C	D	E
237			3 高齢者、女性、障がい者が年齢や適正、能力に応じた雇用機会の確保に向け、関係機関と連携して、情報提供や相談、事業者への働きかけの実施	・関連ポスター・チラシの掲示・配布を行った。	・関連ポスター・チラシの掲示・配布を行った。	商工観光課	A・B・C・D・E	2	2		1	
238		②起業・創業支援と企業誘致の促進	1 町内で起業を希望する方に対して、起業・創業のための支援	・創業支援計画に基づいた支援を実施した。(実績 1件) ・紀北町創業支援事業保証料補助金交付要領を制定した。	・創業支援計画に基づいた相談・支援を実施した。(実績 4件) ・紀北町創業支援事業保証料補助金の交付を行った。(実績 1件)	商工観光課	A・B・C・D・E	2	1	2		
239			2 IT企業等の誘致を推進と雇用の場の確保	紀北町ホームページに企業立地メニューを掲載し、国・県の関連情報、町の取り組みなどを発信し、企業誘致に取り組んだ。	紀北町ホームページに企業立地メニューを掲載し、国・県の関連情報、町の取り組みなどを発信し、企業誘致に取り組んだ。	企画課	A・B・C・D・E	1	2	2		
240		③働きやすい環境づくりの促進	1 労働条件の向上やワーク・ライフ・バランスのための環境づくりに向けた事業所への啓発	・ワークライフバランスのポスター・チラシの掲示・配布を行った。	・ワークライフバランスのポスター・チラシの掲示・配布を行った。	商工観光課	A・B・C・D・E	2	2	1		